

研究課題番号	3G-2201
研究課題名	ごみの排出・収集時における感染防止対策に関する研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	山田 正人

1. 委員の指摘及び提言概要

感染症流行時におけるごみの分別区分や家庭内保管方法、集積場の管理、収集作業時の飛沫等への曝露防止等の対策とその効果を科学的に明示し、ごみ収集事業に役立つ知見を得ることを目的とし研究が行われている。サブテーマごとに、1)新型コロナウイルス感染症流行時のごみ排出行動や量的変化を多様な見方で把握したこと、2)感染源存在状況の科学的検出手法としてのヒト唾液・鼻汁の生化学的測定方法を確立したこと、3)収集事業で想定される感染ハザードと実際の感染対策調査に基づき改善に役立つ事項を明らかにしたことは評価される。今後は、測定手法が実際の作業等への適用に資するよう定量性を裏付ける結果を得ること、行政への貢献をより重視して取組むことを期待するとともに、学術成果の誌上発表にも留意されたい。

2. 採点結果

評価ランク：A